



No. 2798

2016-2017年度

会長 松村 秀一

幹事 橋爪 誠治

R広報委員長 上野山栄作



担当：嶋田(崇)委員

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創立 昭和34年6月15日
ホームページ http://www.aridarc.jp
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



～有田ロータリークラブ目標～

親睦を深め
ロータリーライフを楽しもう



本日のプログラム

平成28年9月29日 第2799回

- ・外部卓話：わいがや娘の会
「宮崎定直と太刀の宮」「中将姫物語」
- ・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

平成28年10月6日 第2800回

- ・会員卓話：成川 守彦 君
「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告 (第2798例会)

開催日 平成28年9月15日(木)

点鐘 (松村会長)

ビジターの紹介 (井上親睦活動委員長)

ビジター:平松 一彦 君(有田2000RC)

会長の時間 (松村会長)

今日は中秋の名月です。天気
が良ければ大きな月が見えること
でしょう。満月の時は大潮です。
特に春と秋のこの頃は潮の満ち
引きが特に大きくなります。



来週の木曜日は国民の祝日「秋
分の日」で休会です。この日は
「祖先をうやまい、なくなった人々
をしのぶ。」ことを趣旨としている。

と法律で決められているようです。その秋分とは天文学で
は太陽が秋分点を通過する瞬間のことで日本時間では
22日23時21分だそうです。自然科学に於いては味も素っ
気もありません。

シルク・ドゥ・ソレイユはフランス語で太陽のサーカスとい
う意味です。このサーカスには動物が登場しません。人間
だけです。シルク・ドゥ・ソレイユは1984年に誕生したカナ
ダの大道芸から始まった小さなサーカス集団で、今や50
カ国以上から集結した4,000名のアーティストとスタッフを
抱える世界的エンターテインメント集団へと成長していま
す。これまでに、世界6大陸400都市を巡り全世界で1億5
千万人以上もの人々を魅了してきました。

社会貢献活動も行っています。無料のサーカス教室を
世界15カ国の貧困地域で、現地のNGO、自治体、企業
の協力を得て運営し、シルク・ドゥ・ソレイユのコーチから

指導法を学んだ現地の人によって、教育が行き届かず失
業率も高い現実で将来を悲観したストリートチルドレンに
サーカスを指導することで、自分の無限の可能性を引き出
して現実社会に役立てる人を育てる活動をしています。

人間の持てる能力の限界まで追求したパフォーマンス
と、生演奏、照明、舞台芸術、衣装、振付、ストーリーに至
る全てにこだわり、高い芸術性の融合が、世代と国境を超
え世界中から賞賛され続けています。

このサーカスの演出家は次のように述べています。「私
は日本の文化に非常に影響されています。単に伝統的な
文化だけでなく、現代の文化の影響も受けているのです。
ですから、『トーテム』が日本に行くことに興奮しています。
このショーは日本的な精神に基づいているので、日本の
皆さんにとって、より簡単に親しみが持てるものだと思うか
らです。私は歌舞伎の大ファンで、ブリッジを渡ってキャラ
クターが登場するのは、花道にヒントを得ました。そして、
歌舞伎の持つ演劇性やキャラクターの作り方にとても刺激
されました。」

幹事報告 (橋爪(誠)幹事)

○第3回定例理事会の報告

<議案>

- 1、9月・10月の例会プログラムについて 承認
- 2、8月試算表について 承認
経費削減材料として、経済クラブ使用料について調査
をすすめる。
- 3、前期IDMについて(実施内容・時期) 承認
- 4、バナー製作・デザインについて 再見積もりし再検討
- 5、クラブ活性化戦略委員会の開催内容・開催時期を確
認
- 6、親睦家族旅行の行程について 承認
- 7、地区大会のバス代を検討 予算を超えた場合は出席

者で補填を考える。

8、その他

- ①「超我の奉仕賞」推薦者について現行は推薦を見送る承認
 - ② 地区大会選挙人会議の信任状を会長にする件 承認
- <報告事項>
- 1、3クラブ合同ゴルフコンペ日程(10月9日) 確認
 - 地区大会10/23、3クラブ合同ゴルフコンペ10/9 参加者確認。本日締め切りとさせていただきます。
 - 次週、木曜日は祝日(秋分の日)で休会です。

委員会報告

*親睦活動委員会(井上委員長)

- 1. 3クラブ合同ゴルフコンペ、本日最終締め切りです。
- 2. 9月25日の親睦家族旅行参加者へ再度案内。
- 3. 10月23日の地区大会の案内と参加者の移動手段を確認。

*国際奉仕委員会(橋本委員長)

「クラブ国際奉仕委員長会議」の報告
 2016.9.10(土)13:00~16:30 於)テクスピア大阪
 <会議の内容>

- ①国際奉仕の概要と地区の現状
 2640地区の国際奉仕活動が近年縮小してきた。WCSプログラムもRIから廃止通知を受けた。
- ②ネパールでの国際奉仕活動紹介(橋本RC)
 2001年頃から活動を開始し既に4校建設した。現在、RC60周年を記念してバイオガス・トイレを作って贈る予定。
- ③ロータリー財団について
 他の地区に比べて補助金の利用について使い易いように整理されていない。今回中野さんが委員長に就任し、任期中にこの使い勝手の問題を解決する。補助金の利用についてハンドブックを作成中。
- ④オンツアー・アトランタ
 今年のソウル大会に参加した時の経験談の報告。入場拒否されないよう、RI日本事務局からの申請、もしくはマイロータリーから申請することを勧める。
- ⑤質疑
- ⑥まとめ(私の意見)
 国際奉仕活動は、積極的に展開しているクラブと、そうでないクラブがある。有田RCも過去は活発であったが、現状は会員に無理のない範囲で行うのが良い。補助金の仕組みは理解して、クラブにとって有利なように活用すべき。他クラブの活動をメンバーで共有化するのも良い。

出席報告 (中村例会運営副委員長)

本日の会員数26名
 (出席規定免除会員8名)
 出席会員数18名
 (出席規定免除会員5名)
 78. 26%
 9/1 92. 31% MU:上野山(栄)君

ニコニコ箱の報告 (上野山(捷)SAA)

松村君:今日は中秋の名月です。大きな月が見ればいいですね。橋爪正芳様、卓話よろしくお願ひします。
 橋爪(誠)君:橋爪正芳様、今日の卓話楽しみにしていました。よろしくお願ひいたします。平松様、ようこそ有田RCへ。
 橋爪(正)君:卓話させていただきます。平松さん、ようこそお越し下さいました。
 児島君:橋爪(正)君、卓話楽しみです。
 嶋田(崇)君:橋爪さん、卓話ご苦労さまです。
 井上君:先日、息子に中型バイクを買いました。事故なく乗りこなせる事を祈ります。
 脇村君:橋爪さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
 應地君:橋爪さん、卓話を楽しみにしています。
 中元君:橋爪正芳さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
 上野山(英)君:橋爪正芳君、本日の卓話楽しみです。有田2000RC平松君、ようこそ。
 中村君:橋爪正芳さん、卓話楽しみです。
 橋本君:先週金曜日、定例の卓球大会をしました。毎月開催しているので参加者のレベルがグンと向上してきました。有田RCからも橋爪さん、酒井さんに参加していただき、ますますのいい会になってきました。
 上野山(栄)君:橋爪正芳さん、本日卓話で勉強させて下さい。今日はお月見出来るかなあ。
 嶋田(ひ)君:今日はお月見です。少しでもお月さん見ると良いですね。
 上野山(捷)君:橋爪正芳君、本日の卓話、お忙しいところご苦労さまです。

卓話

「良き言葉は成長させてくれる」



会員
橋爪 正芳 君

リオオリンピックが終わって3週間余り、今もテレビで放映されるたびにあの時の感動がよみがえってきます。4年に一度開催されるオリンピックは不思議な魅力を持っているもので、日の丸を背負って競う真摯な選手の姿に魅せられて過ぎる時間も忘れず。マラソンのように時間を要する競技もありますが、勝っては泣き、負けては泣く彼らの背景には、たった数秒、数分のために何年もの歳月をかけて血のにじむような鍛錬を重ねてきたことが我々に画面を通して伝わり感動を与えます。そして、選手たちの裏側も明かされる時、一人の選手に関わる家族や指導者、様々な人たちの支えが明るみになり更に感動が増

し、涙することもあります。41個のメダル獲得は過去最高で素晴らしいことであり、心に残る競技が多い中で私は二つの事象に感動を受けました。

その一つは競技の後の記者会見での一幕です。読売新聞のコラムの書き出しには「何とかの勘繰り同然の質問も、時には美しい答えを引き出すことがある。」とありました。体操男子個人総合でウクライナのオレグ・ベルニャエフ選手に劇的な僅差で逆転し金メダルを手にした内村航平選手に、「あなたは審判から好意的に見られているのでは」との質問が飛んだ際、自分が問われたわけでもないのに、「今の質問は無駄だと思う」と邪推を全否定したのは銀メダルとなったベルニャエフ選手でした。彼は「航平は伝説の人物、若手はみんな夢みている。」と言い喝采を浴びました。スポーツ報知には、「質問者は赤面したはずだが、珍問は結果として良問だったろう。生まれたばかりの良き言葉を胸に刻む」と書かれていました。

もう一つは、女子レスリングの吉田沙保里選手です。13度の世界選手権保持者、206連勝の偉業を打ち立て国民栄誉賞の受賞、尚かつ、オリンピック3連覇、そして4連覇に挑んだリオ五輪で無念の銀メダル。試合をするのが怖かったという言葉は、前日の女子レスリングの試合で3階級で金メダルを獲得した後輩選手に並びたいと思う心の焦りと世界中からの注目や日本国民の期待からのプレッシャーに加えて日本選手団の主将としての責任感から出た言葉であろうと推察します。4連覇を果たした伊調選手より銀メダルの吉田選手の報道が大きく取り上げられていました。この事は、私に以前目にした文章を思い出させました。

安芸の海が名横綱双葉山の70連勝を阻んだ際、師匠である出羽の海親方がさぞかし喜んでくれるだろうと思いきや、意気揚々と部屋に戻りましたが、親方はニコリともしてくれなかったそうです。そして、「節男(安芸の海の本名)、勝って騒がれる力士より、負けて騒がれる力士になれよ」と諭しました。

レスリング3階級で金メダルを獲得した三人の選手は「吉田選手の背中を見てきて取れた金メダルです」と答えています。吉田選手の数々の偉業達成の陰に隠れた行為と、人としての魅力が金メダルを上回る報道につながっているように私は思いました。出羽の海親方の名言は、吉田選手にも当てはまる言葉だと感じました。そして、ウクライナのベルニャエフ選手のスポーツマンとしての清々しい発言にも金メダル以上のものを感じました。たくさん感動や良き言葉をいただいたリオオリンピックでした。

しかし、良き言葉であっても時代とともに使われなくなった言葉もあります。最近、あまり耳にしなくなった言葉に「肩落とし」「傘かしげ」があります。現在、我々の環境は利便性を追求し、住みよい街づくりが進められていますが、ほんの数十年前には、狭い路地と呼ばれる通り道が多くあり、すれ違う時は肩を引いたり、雨の日は傘をかしげたりして通り道を譲り合いました。マナーやエチケットというよりも、暮らしのしきたりのようなもので、自然にできていたルールでした。小さな気配りや心づかいです。ロータリーでいう「善意の心」から出る行動と行為であり、相手を思いやる心です。消えてほしくない言葉です。

ロータリーで消えてほしくない言葉に「職業奉仕」があります。「決議23-34」と「職業奉仕」は私にとって難解な言葉で、オリエンテーションやカレッジを受けても消化不良を起こしていました。ある時、手にした「ロータリー入門書」を読み、一步前に進んだ気持ちになりました。その一部を抜粋し読ませていただきます。

『あらゆる活動は「善意」から出発する。そしてその善意がいろいろに分析・具体化されたのがロータリーである。まず善意とは何であるか、それは「人間同士の思いやりの気持ち」である。善意の反対の言葉は「悪意」となるが、悪意というより「利己心」というべきでしょう。この「善意と利己心」との混合体が人間の心である。人間の心の中には「善意」と「利己心」は常に同居して相争っているのが実情であって、これが錯綜して織りなす人間模様こそ社会の実態ではないでしょうか。』

『もし「善意」というものがなければ、ロータリーはただの社交クラブである。職業奉仕といっても金儲けのためではない。』

『ロータリークラブは奉仕する団体でなく、奉仕する人の集まりである。』

職業奉仕は解りにくいと言われます。この本の作者である前原さんは職業奉仕を「職業を道徳的ならしめるため」というロータリーの直訳の方が理解しやすいと、この本で述べています。ロータリアンは完全な人格者でなく、四つのテストを座右の銘とし常に向上を目指そうと述べています。

話は変わりますが、前年度の3月例会で上野山英樹さんが「職業奉仕が危ない」というテーマで卓話をしてくれました。特に印象深かったのは、「職業奉仕の軽視はロータリーの弱体につながる」というビチャイ・ラタクル元RI会長の言葉です。そして4月例会では成川守彦さんが「決議23-34」について卓話をしてくれました。非常に要領よく簡潔に纏められていて分かりやすかったです。私は職業奉仕と同様に説明できるまでの域にはとてもおぼつかないもので脱帽しました。

しかし、今回の規定審議会で採択された立法案については理解し難い部分もあります。わがクラブでも大いに議論し勉強すべき時と考えます。

閉会・点鐘 (松村会長)

10月の例会プログラム

10/6(木)	会員卓話 成川守彦君 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について」
10/13(木)	外部卓話 大野光一氏 (湯浅税務署長)
10/20(木)	外部卓話 董涛君(米山奨学生)
10/27(木)	前期 I DMの発表